

第 1 回 こども安全対策分科会会議録	
日 時	平成27年 6 月18日 (木) 午後 2 時00分から午後 3 時40分まで
開催場所	栄区役所本館 3 階 5 号会議室
出席者	片岡、吉田、興石、岡、本田、白水、藤森、五十嵐 (敬称略) 事務局：林、古橋、服部、金山
議 題	1 あいさつ、紹介、座長の選出 2 議題 (1) 平成 26 年度の取組について (2) 平成 27 年度の取組について (3) 子ども・子育ての課題について 3 その他・情報共有
決定事項	1 平成26年度の取組を引き続き推進していくことが確認された。  2 重点取組として、乳幼児の事故防止に取り組むことが確認された。また、啓発物については、委員の意見を踏まえ、リーフレット、クリアファイルを作成すること、広く周知を図ることが決定した。
議 事	1 あいさつ、紹介、座長の選出 事務局からの挨拶、委員の自己紹介があった。その後、委員の互選により、片岡委員が座長に選出された。  2 議題 (1) 平成 26 年度の取組について 事務局より、平成 26 年度の取組について報告し、引き続き取り組んでいくことが確認された。その後、各委員からそれぞれ関わりのある取組について説明があった。 (2) 平成 27 年度の取組について 事務局より、平成 26 年度までの取組に加え、重点取組として、乳幼児の事故防止に取り組むことの説明とともに、啓発物の案が提示され、一同了承された。 (3) 子ども・子育ての課題について 事務局より、7 月に立ち上がる「栄区版子ども・子育て支援会議」について説明があった。その後、子どもや子育てに関する課題について意見交換を行った。  3 その他・情報共有 委員から子どもたちに関わる取組について、情報提供があった。
資 料	1 委員名簿 2 平成26年度の取組内容・指標の進捗管理 3 セーブ・キッズフォーラムちらし 4 セーブ・キッズフォーラム講演・パネルディスカッションの感想 5 これまでの取組、再認証に向けた重点取組 6 啓発物作成案 7 こどもの事故予防チェックリスト案 8 平成27年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議資料 (抜粋)

第2回 こども安全対策分科会会議録	
日 時	平成27年10月19日（月）午後2時00分から午後3時30分まで
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	片岡、三瓶、吉田、輿石、岡、本田、白水、藤森、五十嵐（敬称略） 事務局：林、古橋、服部
議 題	1 あいさつ 2 議題 （1）重点取組の進捗状況について （2）子どものけが予防の取組について 3 その他・情報共有
決定事項	1 事務局より、重点取組の進捗状況について報告があり、啓発物の配布方法について確認された。 （主な確認事項） ・事故予防チェックリストを月齢（年齢）別に3種類作成し、乳幼児健診で養育者の方へ配布している。 ・リーフレット版をこんにちは赤ちゃん訪問の際に他の資料と合わせて配布している。 ・クリアファイルを地域育児教室、保育園、地域子育て支援拠点、子育てサロン等の養育者が集まる場所で配布していく予定である。  2 乳幼児の事故防止に向けた啓発物の配布について、委員の地域活動の範囲において、クリアファイル、事故予防チェックリストを活用した啓発を行うことが確認された。
議 事	1 あいさつ 事務局からの挨拶があった。 2 議題 （1）重点取組の進捗状況について 事務局より、重点取組の進捗状況を報告するとともに、乳幼児の事故防止について、啓発物の作成、配布方法について説明があった。その後、啓発物の配布について委員による意見交換を行った。 （主な意見） ・事故予防の話をしながらか、手渡しで配布することが、養育者の意識を高め、より効果的な啓発となる。 ・地域に広げていくためには、区役所（行政）だけではなく、委員の地域活動の中で積極的に啓発していく必要がある。 （2）子どものけが予防の取組について 事務局より、子どものけが予防の取組について説明があった。その後、委員から公立保育園における体力向上、けが予防の取組について紹介があった。 （主な内容） 乳幼児の場合は、けがをしないように大人が見守る視点が大切であるが、子どもの成長（幼児期）とともに、子ども自身がけがをしないような体力をつけること、丈夫な身体づくりという観点での取組を実施している。（自然の中での散歩、リズム遊び、さかえっ子体操など） 特に、公立保育園で22年度から始めた訪問運動指導においては、実践してきた運動遊びや集団遊びを、日々の保育に取り入れていくことで、継続的な体力向上につながっている。
資 料	1 委員名簿 2 傷害サーベイランス分科会出席者名簿、資料（抜粋） 3 こども安全対策分科会における重点取組の進捗状況報告 4 こどものけが予防の取組

第1回 スポーツ・余暇安全対策分科会会議録	
日 時	平成27年6月1日（月）午後7時から
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	丸山・清水・白川・石山・厚浦・山上・高城・末村・磯川・堀川（敬称略） 事務局：塗師・加藤・羽鳥
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 座長の選出について</li> <li>2 報告 各構成団体の平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画について</li> <li>3 議題 (1) スポーツ・余暇安全対策分科会の平成26年度活動報告及び平成27年度活動計画について (2) さかえっ子体操普及啓発について</li> </ol>
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツ・余暇安全対策分科会の平成26年度活動報告及び平成27年度活動計画について、一同了承された。</li> <li>2 さかえっ子体操普及啓発について、一同了承された。</li> </ol>
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 座長の選出について 栄区体育協会の丸山会長を座長に選出した。</li> <li>2 報告 各構成団体及び事務局より、平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画について報告があった。</li> <li>3 議題 (1) スポーツ・余暇安全対策分科会の平成26年度活動報告及び平成27年度活動計画について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ セーフコミュニティ再認証に向けた重点取り組みとして、ウォーキングを推進していくことを確認。</li> <li>・ 26年度報告及び27年度計画について一同了承された。</li> </ul> </li> <li>(2) さかえっ子体操普及啓発について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 26年度報告及び27年度計画及びさかえっ子普及啓発の協力について一同了承された。</li> </ul> </li> </ol>
資 料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員名簿</li> <li>2 栄区セーフコミュニティ推進協議会スポーツ・余暇安全対策分科会運営要綱</li> <li>3 各構成団体の平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画について</li> <li>4 今年度のスポーツ・余暇安全対策分科会について</li> <li>5 さかえっ子体操普及啓発について (別添資料) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域イベントにおける「さかえっ子体操」の普及啓発のご協力について（お願い）</li> <li>・ 平成27年度第1回セーフコミュニティ推進協議会 議事録・資料</li> </ul> </li> </ol>

第2回 スポーツ・余暇安全対策分科会会議録	
日 時	平成27年11月12日（木）午後7時から
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	丸山・清水・白川・厚浦・高城・山上・西村・磯川・末村・堀川（敬称略） 事務局：塗師・加藤・羽鳥
議 題	1 あいさつ 2 議題 (1) 各構成団体の平成27年度上半期振り返り及び下半期予定について (2) 傷害サーベイランス分科会について (3) スポーツ・余暇安全対策分科会での取組内容・指標の修正について (4) スポーツ・余暇安全対策分科会だよりの発行（2月） 3 その他 (1) ウォーキングイベントについて（11月ウォーキング推進月間） (2) さかえっ子体操講座について（区民向け）
決定事項	1 スポーツ・余暇安全対策分科会での取組内容及び指標を修正することを決定した。 2 スポーツ・余暇安全対策分科会だよりを発行することを決定した。
議 事	1 あいさつ 丸山座長、塗師事務局長より挨拶があった。 2 議題 (1) 各構成団体の平成27年度上半期振り返り及び下半期予定について各団体より、報告があった。 (2) 傷害サーベイランス分科会について事務局より、発表内容及び指摘事項について報告があった。 (3) スポーツ・余暇安全対策分科会での取組内容・指標の修正について事務局案のとおり、取組内容を「安全なウォーキングの推進」として変更し、進めていくことで一同了承した。 (4) スポーツ・余暇安全対策分科会だよりの発行（2月） 正しいウォーキング方法を広める広報としても分科会だよりを活用したいとの意見も踏まえ、発行することで一同了承した。 3 その他 (1) ウォーキングイベントについて（11月ウォーキング推進月間） (2) さかえっ子体操講座について（区民向け）
資 料	1 委員名簿 2 構成団体の平成27年度事業計画 3 分科会取組内容・指標変更案 4 平成26年度分科会だより （別添資料） 1 傷害サーベイランス分科会議事要旨・配布資料 2 栄区青少年指導員協議会広報誌「かたらい」 3 11月ウォーキング推進月間チラシ・ウォークラリー台紙 4 さかえっ子体操講座チラシ 5 てくてくウォーク募集チラシ

第3回 スポーツ・余暇安全対策分科会会議録	
日 時	平成28年 2月22日 (月) 午後 7時から
開催場所	栄区役所本館 4階 2号会議室
出席者	丸山・清水・厚浦・高城・山上・西村・磯川・末村 (敬称略) 事務局：塗師・加藤・羽鳥
議 題	1 あいさつ 2 議題 (1) 傷害サーベイランス分科会について (2) 区民意識調査結果について (3) ウォーキングイベントでのアンケート結果について (4) スポーツ・余暇安全対策分科会だよりについて (5) 来年度分科会研修会について 3 その他・情報共有
決定事項	1 前分科会で決定した取組内容及び指標の修正を踏まえ、重点取り組み事項を「安全なウォーキング」として推進していくことを確認した。 2 スポーツ・余暇安全対策分科会だよりを案のとおり発行すること決定した。 3 来年度研修会の内容をウォーキングに関連することとし、区内に広く周知を図ることを決定した。
議 事	1 あいさつ 丸山座長より挨拶があった。 2 議題 (1) 傷害サーベイランス分科会について 事務局より、発表内容及び指摘事項について報告があった。 (2) 区民意識調査結果について 事務局より、実施結果及び昨年度との比較・傾向について説明があった。 (3) ウォーキングイベントでのアンケート結果について 事務局より、区民意識調査結果との比較を含め説明があった。 (4) スポーツ・余暇安全対策分科会だよりについて 案のとおり発行し、ウォーキングイベント時に配布する等して安全なウォーキングの推進としても活用することで一同了承された。 (5) 来年度分科会研修会について ウォーキングに関連する内容とすること、構成団体だけではなく区民に広く参加を呼び掛けることで一同了承された。 3 その他・情報共有 各団体の取り組みについて情報提供があった。
資 料	1 委員名簿 2 区民意識調査結果 3 ウォーキングイベントでのアンケート結果 4 平成27年度分科会だより案 5 次年度分科会研修会案 (別添資料) 1 傷害サーベイランス分科会資料 (抜粋) ・指摘事項 2 スポーツ安全保険の加入者及び各種事故の統計データ (抜粋)

平成27年度 第1回 交通安全対策分科会会議録	
日 時	平成27年4月22日(水) 午前10時50分から
開催場所	栄区役所本館3階3号会議室
出席者	森、加藤、関、小野(代)、中込、田中、竹谷、曾根、竹鼻、堀田、三輪、(敬称略) 事務局：塗師、吉田、塩島、塚田
議 事	<p>1 報告案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本郷台駅前自転車等放置防止キャンペーンへの協力結果 (主催：本郷台駅自転車等放置防止推進協議会) 平成27年3月23日(月) 午前6時30分から午前9時 本郷台駅前周辺自転車等放置禁止区域内</li> <li>交通安全三世代交流大会への協力結果(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成27年3月31日(火) 午後1時から午後3時 栄区役所新館4階8号会議室</li> <li>新入学児童・園児を交通事故から守る運動及び後部座席のシートベルト着用定着化推進運動の実施結果等(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成27年4月8日(水) 午後0時10分から午後0時50分 公田小学校周辺 平成27年4月10日(金) 午前7時45分から午前8時15分 地球市民プラザ前交差点周辺 平成27年4月10日(金) 午前9時から午前10時 公田交差点周辺 (予定)平成27年5月1日(金) 午前10時から午前11時 地球市民プラザ前交差点周辺 (予定)平成27年5月20日(水) 午前10時から午前11時 公田交差点周辺</li> </ul> <p>2 議事案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度春の全国交通安全運動「春の全国交通安全フェスティバル」について (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成27年5月10日(日) 午前10時から正午 西本郷小学校</li> <li>二輪車事故防止強化月間・暴走族追放強化月間街頭キャンペーンについて (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成27年6月5日(金) 午前10時から午前11時 本郷台駅前広場</li> <li>本郷台駅前自転車等放置防止キャンペーンへの協力について (主催：本郷台駅自転車等放置防止推進協議会) 6月、9月、11月、3月の各月1回実施予定</li> <li>夏の交通事故防止キャンペーンについて(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成27年7月14日(火) 午後4時から午後5時 大船駅笠間口</li> <li>「はたらくるまだいしゅうごう」への協力について(主催：栄安全運転管理者会) 平成27年7月20日(月・祝) 午前10時から正午 本郷台駅前広場</li> </ul> <p>3 平成26年度第6回栄区セーフコミュニティ推進会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局より、推進会議の概要について報告があった。</li> </ul> <p>4 ヘルメット着用の啓発について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局より、市立小学校全児童・市立保育園全園児・3歳児検診受診対象者あて啓発チラシを配布し、ヘルメット着用率の向上を目指す旨報告があった。</li> </ul> <p>5 交通安全マップの活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局より、過去3年間の交通事故発生地点について、HPに掲載して閲覧できるようになった旨報告があり、スクールゾーン対策協議会など各団体の活動を通じて活用してほしい旨依頼があった。</li> </ul>

資 料	<ol style="list-style-type: none"><li>1 報告案件及び議事案件の概要</li><li>2 平成27年度春の交通安全運動・春の交通安全フェスティバルについて</li><li>3 平成27年度「交通事故死ゼロを目指す日」キャンペーンについて</li><li>4 交通事故発生概況</li><li>5 危険行為を繰り返す自転車運転者に対する講習の受講義務化チラシ</li><li>6 75歳以上のドライバーに対する認知機能チェック強化へ</li><li>7 平成26年度第6回栄区セーフコミュニティ推進会議資料（抜粋）</li><li>8 ヘルメット着用啓発チラシ</li><li>9 交通安全マップ画面サンプル</li></ol>
-----	--

平成27年度 第2回 交通安全対策分科会会議録	
日 時	平成27年9月8日(火) 午前10時45分から
開催場所	栄区役所新館4階7号会議室
出席者	関、小野(代)、中込、田中、竹谷、吉泉、廣田、堀田、三輪、(敬称略) 事務局：塗師、吉田、塩島、塚田
議 事	<p>1 報告案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春の全国交通安全運動「春の交通安全フェスティバル」の実施結果 (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成27年5月10日(日) 午前10時から正午 西本郷小学校 対象者約800人</li> <li>・ 二輪車交通事故防止強化月間・暴走族追放強化月間街頭キャンペーンの実施結果 (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成27年6月5日(金) 午前10時から午前11時 本郷台駅前広場 対象者約200人</li> <li>・ 夏の交通事故防止キャンペーンの実施結果(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成27年7月14日(火) 午後4時から午後5時 大船駅笠間口周辺 対象者約300人</li> <li>・ 「はたらくくるまだいしゅうごう」の実施結果(主催：栄安全運転管理者会) 平成27年7月20日(月・祝) 午前10時から正午 本郷台駅前広場 対象者約500人</li> </ul> <p>2 議事案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成27年度「秋の全国交通安全運動」キャンペーンについて (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成27年9月24日(木) 午後3時から午後4時30分 本郷台駅前広場</li> <li>・ 「交通事故死ゼロを目指す日」キャンペーンについて(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成27年9月30日(火) 午前10時から午前11時 笠間交差点</li> <li>・ 違法駐車及び放置自転車・バイククリーンキャンペーンについて (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成27年10月15日(木) 午後2時から午後3時 本郷台駅前広場・大船駅笠間口</li> <li>・ 交通安全十五夜キャンペーンの協力について(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成27年9月25日(金) 午後3時から 本郷台駅前広場</li> <li>・ シルバードライビングスクールの開催について(主催：栄警察署) 平成27年9月28日(月) 午前10時から正午 鎌倉自動車学校</li> </ul> <p>3 スクールゾーン活動におけるモデル地点の選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局より、①区内の市立小学校14校において、スクールゾーン対策協議会を実施した。②全120件の検討案件から、3箇所程度をモデル地点と選定し、改良の前後で効果測定を実施する。③車両の通行速度や地域住民の体感アンケート等を実施予定である旨報告があった。</li> </ul> <p>4 栄区制30周年記念事業オープニング さかえセーフコミュニティフォーラムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成27年10月3日(土) 午後1時から午後3時30分 栄公会堂</li> <li>・ さかえっ子体操、パネルディスカッション等も実施</li> </ul> <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄警察署より、8月末に高齢者の死亡事故が発生した旨報告があった。</li> </ul>



<p>資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 報告案件及び議事案件の概要</li> <li>2 平成27年度「秋の交通安全運動」キャンペーンについて</li> <li>3 平成27年度「交通事故死ゼロを目指す日」キャンペーンについて</li> <li>4 平成27年度違法駐車及び放置自転車・バイククリーンキャンペーンについて</li> <li>5 交通安全十五夜キャンペーン実施計画書</li> <li>6 シルバードライビングスクール参加者募集のお知らせ</li> <li>7 栄警察署管内の交通事故（平成27年8月末）</li> <li>8 平成27年度交通安全イベント実施結果一覧</li> <li>9 傷害サーベイランス分科会資料（抜粋）</li> <li>10 栄区制30周年記念事業オープニング さかえセーフコミュニティフォーラムチラシ</li> </ol>
------------	--

平成27年度 第3回 交通安全対策分科会会議録	
日 時	平成27年11月12日(木) 午前10時40分から
開催場所	栄区役所本館4階1号会議室
出席者	加藤、関、小野(代)、中込、田中、竹谷、吉泉、竹鼻、堀田、長谷川、三輪、(敬称略) 事務局：塗師、吉田、塩島、塚田
議 事	<p>1 報告案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成27年度秋の全国交通安全運動キャンペーンの実施結果 (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成27年9月24日(木) 午後3時から午後4時30分 本郷台駅前広場 対象者300人</li> <li>・ 交通安全十五夜キャンペーンの実施結果(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成27年9月25日(金) 午後3時から午後4時 本郷台駅前広場 対象者435人</li> <li>・ 本郷台駅自転車等放置防止クリーンキャンペーンの実施結果 (主催：本郷台駅自転車等放置防止推進協議会) 平成27年9月30日(水) 午前6時30分から午前9時 本郷台駅前周辺自転車等放置禁止区域内 対象者80人 警告8台</li> <li>・ 「交通事故死ゼロを目指す日」キャンペーンの実施結果 (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成27年9月30日(水) 午前10時から午前11時 笠間交差点 対象者200人</li> <li>・ 違法駐車・放置自転車・バイククリーンキャンペーン実施結果 (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成27年10月15日(木) 午後2時から午後3時 本郷台駅前周辺自転車等放置禁止区域内及び大船駅笠間口周辺自転車等放置禁止区域 対象者200人 警告17台</li> </ul> <p>2 議事案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年末の交通事故防止(飲酒運転根絶強化月間)キャンペーンについて (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成27年12月11日(金) 午後3時から午後4時30分 本郷台駅前広場</li> <li>・ 「春の全国交通安全運動に伴うキャンペーン」の検討について (主催：栄区交通安全対策協議会) 春の全国交通安全運動期間中(平成28年4月) 豊田地区で実施 内容の詳細は要検討</li> <li>・ 交通安全クリスマスキャンペーンについて(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成27年12月17日(木) 午後3時から 本郷台駅前広場</li> </ul> <p>3 栄区内の死亡事故発生について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄警察署より、事故の概要及び横断歩道の設置位置の検討について報告があった。</li> <li>・ 反射材の着用など、高齢者への交通安全啓発の実施(民生委員、シニアクラブなどと連携)について検討した。</li> </ul> <p>4 自転車乗車時のヘルメット着用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局より、市立小学校全児童・市立保育園全園児・3歳児検診受診対象者あて啓発チラシを配布している旨報告があった。</li> <li>・ 学援隊・PTA・スクールゾーン対策協議会等の会議の場での啓発について提案があり、今後実施に向けて検討することとした。</li> <li>・ ヘルメット着用の格好いい啓発ポスターを作成・掲示することで、着用率の向上を狙うなどの意見が出た。</li> </ul>

資 料	<ol style="list-style-type: none"><li>1 報告案件及び議事案件の概要</li><li>2 年末の交通事故防止（飲酒運転根絶強化月間）街頭キャンペーンについて</li><li>3 「春の全国交通安全運動に伴うキャンペーン」の検討について</li><li>4 交通安全クリスマスキャンペーン実施計画書</li><li>5 平成27年度交通安全イベント実施結果一覧</li><li>6 平成27年度年末の交通事故防止運動横浜市実施要綱</li><li>7 平成27年度飲酒運転根絶強化月間横浜市実施要綱</li></ol>
-----	---

平成27年度 第4回 交通安全対策分科会会議録	
日 時	平成28年2月3日(水) 午前10時40分から
開催場所	栄区役所新館4階7号会議室
出席者	森、加藤、関、山田、中込、田中、竹谷、吉泉、竹鼻、堀田、三輪、(敬称略) 事務局：塗師、吉田、塩島、塚田
議 事	<p>1 報告案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スケアード・ストレイト教育技法による交通安全教室の開催予定</li> <li>・ 年末の交通事故防止運動(飲酒運転根絶強化月間)街頭キャンペーンの実施結果 (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成27年12月11日(金) 午後3時から午後4時30分 本郷台駅前広場 対象者300人</li> <li>・ 飲酒運転大根絶キャンペーンの実施結果(主催：栄交通安全協会) 平成27年12月11日(金) 午後1時30分から午後2時 栄区役所入口交差点 対象者200人</li> <li>・ 交通安全クリスマスキャンペーンの実施結果(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成27年12月17日(木) 午後3時から午後4時 本郷台駅前広場 対象者500人</li> </ul> <p>2 議事案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「交通事故死ゼロを目指す日」啓発キャンペーンについて (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年4月9日(土) 午後2時から午後3時 公田交差点</li> <li>・ 「春の全国交通安全運動に伴うキャンペーン」の検討について (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年4月9日(土) 午前10時から正午 長沼スポーツ広場</li> <li>・ 交通安全 節分 キャンペーンについて(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成28年2月3日(水) 午後3時から午後4時 本郷台駅前広場</li> <li>・ 本郷台駅自転車等放置防止キャンペーン(主催：本郷台駅自転車等放置防止推進協議会) 平成28年3月下旬 午前6時30分から午前9時 本郷台駅周辺放置禁止区域内</li> <li>・ 交通安全 三世代 交流大会(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成28年3月29日(火) 午後2時から午後4時 栄区役所新館4階8号会議室</li> </ul> <p>3 栄区内の交通事故状況(平成27年)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄警察署より、平成27年中の交通事故の状況について報告があった。</li> <li>・ 事故件数は減少しているものの、事故件数における高齢者の事故の割合が高いことなど説明があった。</li> </ul> <p>4 平成27年度第2回栄区傷害サーベイランス分科会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局より、傷害サーベイランス分科会の概要について報告があった。</li> </ul> <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局より、高齢者の事故件数及び構成比率の経年変化について説明があった。</li> <li>・ 事故件数は減少しているものの、平成27年の事故件数に占める割合は36%であるため、当分科会や各団体においても、高齢者に対する啓発活動等に注力する旨了解を得た。</li> </ul>

<p>資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 報告案件及び議事案件の概要</li> <li>2 「春の全国交通安全運動に伴うキャンペーン」の検討について</li> <li>3 交通安全節分キャンペーン実施計画書</li> <li>4 交通安全三世代交流大会</li> <li>5 平成27年度交通安全イベント実施結果一覧</li> <li>6 横浜市交通安全協会自転車会入会のご案内</li> <li>7 新たな交通事故抑止対策「横浜エリアゼロ対策」の推進について</li> <li>8 平成27年度栄区傷害サーベイランス分科会資料（抜粋）</li> <li>9 栄警察署管内の交通事故（平成27年中）</li> <li>10 高齢者の事故件数及び構成率</li> </ol>
------------	--

## さかえっ子の笑顔ひろげ隊事業（SC 児童虐待予防対策分科会）

1 回目 議事録（平成 27 年 5 月 28 日）

参加者：主任児童委員（本郷 3）北野、主任児童委員（小菅ヶ谷）宮崎、社協 秋葉  
にこりんく 五十嵐・古川

（目的）子育て世帯と接するすべての方が養育者を温かく見守る地域づくりを目指すもの  
<27 年度の方向性>

H27 年度はセーフコミュニティの分科会の位置付けとする。

幅広い層に「子育て」「こども」について関心を持ってもらう、見守ってもらうための働きかけを。

○どんな取り組みができるか？

- ・世代間交流
- ・学齢期の登下校見守り
- ・担い手が気づいたことを相談できるように相談先を周知していくなど
- ・中高生を巻き込んだ取り組みはどうか？
- ・育児教室に中学生の参加？…本郷中学校？

（他区では中 3 全員に命の授業に取り組んでいるところがある。性教育にもなる）

- ・にこりんく：中学生対象に赤ちゃん抱っここの場を作り交流の取り組み  
沐浴  
孫育て講座  
ふれあいコンサート（11/28）  
ステーションまつり（9/5）

- ・父親に、子育てのうえで地域とのつながりの大切さを伝えていく
- ・地域のふれあい運動会と一緒に何か？
- ・まちコン
- ・おまつり
- ・地福会議  
分科会・・・こどもの安全(自転車、夜道)

☆どの地区のどの世代に焦点をあてるのか

☆昨年度の活動で発表してもらった活動を見に行く（各地区での取り組みの中で見学に入ってもよさそうなものを出してもらう）

☆地域をどう巻き込むか

## さかえっ子の笑顔ひろげ隊事業（SC 児童虐待予防対策分科会）

2 回目 議事録（平成 27 年 6 月 23 日）

参加者：主任児童委員（本郷 3）北野、主任児童委員（小菅ヶ谷）宮崎、社協 秋葉  
にこりんく 五十嵐・古川

### ① 地域の見守り・啓発

身近な地域でどう広げていくか？

既存の取り組みの中で周知できるところを探す

相談先の周知

### ② 次世代への予防的な活動

小中学生とのふれあい

父親の地域とのつながり

<にこりんくでは>

○12 月 2・3 日：孫育て講座

孫のいない人にも興味を持ってもらえるように講座のタイトル考え中。

笑顔ひろげ隊の周知の時間も作ろうと検討中（10～15 分くらいで）

○ふれあいコンサート

受付や始まりのところで周知可能。

○ステーションまつり

ステージの合間をみて周知の時間を作れる。セレモニーのところでも？

### ③ 区民祭りなどの人の集まる場での周知

●オレンジリボンを配る時に同じチラシを撒くのもよい

今まで配布していたコアラのパンフ、オレンジリボンにプラスしてひろげ隊のチラシを新たに作成して一緒に配る。…サイズは A4 の半分（はがき大）、カラーでかわいく。（予算あまりない。マグネットの残りはある）

・9 月 5 日の行事、一番早い。区民祭りは 11 月上旬。

チラシ作製は 9 月 5 日まで

●区役所の HP にもものせる

### ☆民児協でのひろげ隊についての反応

・本郷中央：昨年ひろげ隊での発表（？）をきっかけに地福会議に主児も入れてもらえるようになったという意見あり。

・上郷西・東：高齢者が多く、子育てについての支援活動は少ない。

豊田地区の真似をしてカレンダー作る方向になっていたがメンバーがいなくなり立ち消え。  
中学校が合併した年なので声掛けするにはよい時期だと思うが上郷地区センターの育教は主児が  
手伝いに入っていない。

- 笠間地区：育児教室あとのぴよぴよランチなど活動活発。  
プール遊び時に中学生ボランティアを呼んでいるが小児救急法を学んでからプール遊びをしている。  
ゆうわ会館での水遊びイベントは見学できそう。  
笠間ディキャンプ・地福計画でやっている。そういう団体の人との顔つなぎが周知の場にひろがる。
- 地域ごとの発表はよかった、毎年やってもよいのではという声も出ていた。

★次世代に向けた啓発として育児教室

8月7日：中野地域ケアプラザ（上郷中、本郷中あたりのエリア）に声をかけてみてはどうか。  
主児さんに学校に声掛けしてもらおう。

★ゆうわ会館

室内プールの見学(中学生ボラの活動のもの)

8月 4日 湯浅、池田、瀬戸

8月18日

自分自身が活動を知ること。

大切な活動だということをごちから伝えていく。

8月4日にゆうわ会館でチラシ配布

それまでにチラシのたたき台を作成する。



## さかえっ子の笑顔ひろげ隊事業（SC 児童虐待予防対策分科会）

3 回目 議事録（平成 27 年 7 月 21 日）

参加者：主任児童委員（本郷 3）北野、主任児童委員（小菅ヶ谷）宮崎、社協 秋葉  
にこりんく 五十嵐・古川

- ・8 月 7 日 赤ちゃんふれあい体験の取り組みについて  
本郷中から 3 名（ボランティア活動の盛んな学校）、上郷中は 0 名  
その他近くに住む高校生にも声掛けするか

### ☆中野地域ケアプラザ

モーリーズで赤ちゃんと遊ぼうという企画あり・・・まさに育児教室への参加の小学生版？  
もっと他に広めていくようにお手伝いすることもよいのではないかな？

☆にこりんくの赤ちゃん抱っこ体験・・・小学校 4・5・6 年生対象  
豊田地区の中学か 2 名応募有り。

- ・区全体で小学・中学生には、どのようなボランティア活躍できる場があるのか？をまず、知ることに  
1 枚紙にまとめられればよい。それをもとに小・中学生が関われるものがあるのか探る。

↓

主児さんに聞いてもらう

- ・活動の内容を掘り下げていくと、どんな人が関わっているかもわかってくる。

### ★にこりんく

父むけの教室あり。（パパあつまれ）

9 月 5 日のステーション祭りのセレモニーの中でひろげ隊のことを周知する。  
（ちらし、マグネットを配布）

### ★地域の活動

- ・おやじの会・・・消滅するところが増えている？

○父親の参加できる地域の場合

○小・中学生向けの情報集め

↓

主任児童委員会で情報収集

# さかえっ子の笑顔ひろげ隊事業（SC 児童虐待予防対策分科会）

第4回議事録（平成27年9月30日）

参加者：主任児童委員（本郷3）北野、主任児童委員（小菅ヶ谷）宮崎、社協 秋葉  
にこりんく 五十嵐・古川

## 1. 前回の確認

## 2. 活動報告

① 区民まつり・布バックなどグッズ500部配布。一時間かからず配り終えた。

渡す時にざっとオレンジリボンの説明をするとわりとみんな聞いてくれたのでこの活動も意味があると思う。が、渡す人が年配の方が多かったので若い母たちに配る機会が少なかったように思う。キャッピーとか、タッチーくんの着ぐるみがあったら子どもも寄ってくると思うのでそこで母親たちに配布できるように、若い世代を引き寄せられる工夫をしてみたらよいと思う。

### ★次年度★

- ・タッチーくん(キャッピー?)に、オレンジリボンのタスキをかけて風船をもたせる？
- ・配布時間を人が増え始める11時とか、パレードの時間や全体の流れをみて配る時間を決め、急がず時間をかけて渡す。

### ☆オレンジリボン☆

<民児協の改選のある年には配る>

- \*来年の12月に改選なので10月あたりに配布する。
- \*学校でも先生につけてもらえるようにオレンジリボンを配る。

② ふれあいコンサート・パンフレット、マグネットなどのグッズ210部配布

コンサート、公会堂の600席がなかなか埋まらない。今回呼んだマジックは面白かったが、小さい子にはわからなかったようだ。小学生くらいだと楽しめたので、地域にもっと広く周知できればよかった→小学生に何か出番があればその親や祖父母も来るのでたくさんの人に参加してもらえるのではないかな。依頼は学校単位だと難しくなるので何か特設クラブ(マーチングや合唱とか)のある小学校に発表の場もかねての参加依頼なら良いのかも。

- \*学校連携にもつなぐ。

③ 孫育て講座

1日目 20組

2日目 19組 資料は2日間合わせて50部くらい配布

2日目は天気が悪く、利用者さんの少ない日だったがダンディーズの方々に、にこりんくを知ってもらえた。母の感想にも自分のこどもが、地域で見守ってもらう日がいつか来ることを感じた、地域の人の子が知れて安心したという感想がアンケートにあった。

### 3. 今後の活動について

●モーリーズ見学 1/11(月・祝) 3/28(月・春休み)

両日小学生も参加する日

●のーびのび

昨年9月から豊田地区ではじまった。月に1回の地域サロン、千秀センターで実施。

12/17(AM)の活動日は千秀小学校の一年生が中休み時間に見学に行く予定。

### 4. 今年度の振り返り

今年度は地域の活動を知るために、いろんな場所に出向いて手作りのチラシでマグネット等と一緒に活動の周知・啓発を行った。

今後・・・地福計画とどう絡んでいくか(今年度、地福の子育て分科会でレツスポーツでもチラシ配りをしたところもある)地福に組み込んで地域の特色が活かされるとよいのだが。

地福でも分科会のあるところ、ないところがあるのでまず、あるところからやっていくか?チラシは配る用のものは今のサイズでよいが、大きくてかわいいポスターを作って区役所やケアプラザに貼っておくのもよいと思う。

区民まつりでブースをもらう?

パネルを飾る?

予算は印刷・製本費に少しとれるかもという程度でセーフコミュニティとしての予算はない。

今後も地域の各所で啓発を継続していこう

各地区の地福の会議に出向いて行って説明するのはどうか。グループ等で集まっているところにパワーポイント10枚くらいで15分くらいの出張講座を行うのも他の団体ではよくあるのでよい方法ではないか。内容にその地区の特徴を少しでも入れておくと喜ばれる。

近々では28年1月31日に豊田で世代間交流、2月9日に小菅ヶ谷のサロンで毎年やっている子育て講演会があるのでそのあたりでもチラシ配布と啓発ができるかも。

地区社協分科会では学校カウンセラーの広井先生の話聞く日がある。そこでも資料の配布は可能。

◎地福とどう絡めるか

◎地域での啓発継続

◎育児教室への中学生の参加を検討

# さかえっ子の笑顔ひろげ隊事業（SC 児童虐待予防対策分科会）

第6回議事録（平成 28 年 3 月 9 日）

参加者：主任児童委員（本郷 3）北野、主任児童委員（小菅ヶ谷）宮崎、社協 欠席  
にこりんく 五十嵐・古川

## 1. 前回の確認

## 2. 平成 27 年度 啓発活動実績

宮崎さんから。チラシの配布はレジュメの表以外にも

- ・小菅ヶ谷地区の「子育て講座」（2/9）でひろげ隊の説明とチラシの配布を行った。（30 数名）
- ・民児協でも説明と配布を行っている。
- ・横浜市の民児協の活動発表の場でも報告、チラシ配布。（20 枚くらい）

\*参考：他区の発表

瀬谷区：オレンジリボン配布活動(中学生ボランティアと駅前配布。子育て応援タクシーにも持って行ったら全国の子育て応援タクシーにひろげてくれた。

チラシ配布数は 1350 枚くらいできた。

☆活動の評価をどうするか？

地域の声をひろっていくしかない。母側としてどう感じているのか。

地域のサロンで協力可能な場所でアンケートを取らせてもらえるかを子育て支援連絡会で投げかけて、協力可能なところでアンケートをやらせていただく？

ルピナスや、モーリーズ、元気っなどにもアンケート用紙を置いておいてもらえるか？

質問項目：地域に相談できる人はいるか？

地域の人に声をかけてもらって安心したことはあるか？・・・など

- ・アンケート内容は次回確認・・・にこりんくでアンケートのたたき台作成

## 3. 28 年度「さかえっ子の笑顔ひろげ隊」の活動について

- ・PR 場所

☆地福「こども関係の分科会」のある地区が 4 地区あり。その地区に年間のどこかで出前講座ができるか？今後、事業企画にも相談していく。パワポ？

- ・本郷台三地区（子育て関連分科会） 担当：池田 CW
- ・豊田地区 担当：堀越 PHN
- ・本郷中央地区 担当：松本 CW
- ・小菅ヶ谷地区 担当：行田

☆民児協 改選後の 12 月に PR

新しい主児さんへの研修がある。各係長が講習を行うのでこども家庭支援担当の係長の持ち時間にひ

ろげ隊の説明とチラシ配布、PRを入れてもらう。

改選前でも、28年度の新しいチラシができれば民生委員分の枚数を主児さんに渡し、主児さんが民生委員に説明することはできる。チラシができ次第やってもらう。

**新しいチラシは5月末までに完成を目標にする！！**

☆区民まつりでも継続してPR　ブースをもらうかどうか検討。

<方法>

チラシの配布と説明

出前講座のパワーポイント 10枚くらいの作成

区民まつりでバックを作成して配布時にたちーくんの着ぐるみでの人寄せをする

まつりでブースを持つかどうか？

オレンジリボンを学校の先生に協力依頼。(11月の虐待予防月間で)

➡校長会と専任会で趣旨説明をする。その後、主児さんがオレンジリボンを手持ちで学校へ行き、説明しながら渡してくる。趣旨説明のプリント必要。リボンは先生の数分+コミハの方やキッズの人の分も必要。校長会は10月に説明に行き、配布は11月がよい。



栄区セーフコミュニティ



## 平成 27 年度 第 1 回高齢者安全対策分科会

日時 平成 27 年 6 月 26 日 (金) 14 時～

会場 栄区役所 2 号会議室

### 次第

- 1 挨拶
  
- 2 報告
  - (1) 平成 27 年度セーフコミュニティの取組について
  
  - (2) 平成 26 年度重点取組報告について
  
- 3 議事
  - (1) 平成 27 年度の行動計画について
    - ①ヒートショックプロジェクト
  
    - ②地域の力を活かした見守り活動の促進
  
  - (2) グループワーク
  
- 4 各機関からの情報提供・その他

## 平成 27 年度 第 1 回高齢者安全対策分科会 議事録

日時 平成 27 年 6 月 26 日 (金) 14 時～

会場 栄区役所 2 号会議室

### 1 挨拶

### 2 議題

#### (1) 高齢者安全対策分科会について

資料参照

#### (2) セーフコミュニティにおける高齢者安全対策分科会の行動計画について

資料参照

#### (3) 今年度の取り組みについて (見守り活動について)

### 【グループワーク】

#### テーマ 1 : 「見守り活動について取り組んでいること」

- ・横の繋がりをつくっていくことが必要。繋がりができることが見守りに繋がるのではないだろうか
- ・シニアクラブとして見守りサポーター 42 人を任命
- ・A さん宅の郵便物や弁当がたまっている等、早く情報を得るようにしている
- ・地域で迷子 (徘徊含む) になっている方への声掛け訓練をしている
- ・マンション等の見守りは困難なことが多い。管理人へ見守りの協力を依頼している
- ・配食は手渡しで様子の変化も分かる。地域のボランティアが届けているので普段から気にかけている。気になる様子があれば、包括支援センターと連携している
- ・マンションの 1 室で多世代の交流の場を作っている。週 1 回会食会。この頃顔を見ない人には近所の方がさりげなく寄ってくれている。
- ・ケアマネやサービス提供者による発見
- ・地域から警察へ姿が見えない、新聞が溜まっていると連絡があり、安否確認をしている。
- ・地域や事業所等から安否を心配する情報がケアプラザに入ると、まずは訪問。地域を育てることで緊急発動は減る。

- ・ケアプラザのサロンや団体活動の中で見守りをしてもらい、気になる情報を包括支援センターへ報告してもらっている。見守りをする場を作る、場を作るための支援をしている。
- ・地域住民で情報収集し、支え合いマップに落とし込む作業をしているが、地道に続けることが大切。
- ・民生委員として、近隣住民の人について何か変わったことがないかさりげなく確認。何かあれば包括へ。
- ・身寄りのない人の救急搬送、なぜ病院に来たのか説明ができない人など様子が気になれば区や包括と連携している。

#### テーマ2：「見守りポイントの活用について取り組めること」

- ・他人ごとではないと感じてもらえるような工夫が必要
- ・団体発信の通信等に見守りポイントを載せて周知をはかる
- ・入居者に対して自治会加入を促し、つながりができるようにする
- ・管理者間でも情報を共有し、ポイントの理解を深める
- ・排除の意識につながらないように丁寧に伝えていかななくてはいけない。
- ・昨年配食のボランティアに研修を行ったが、今年はもう少し丁寧にひとつの項目を経験と結びつけてやっていきたい。
- ・地域で支え合い連絡会や防犯、防災パトロール、いろんなサークル活動等で話題にし、活用し意識を持ってもらう。
- ・普段の見守りで実際に気を付けていることとほぼ一緒だった。これからも続けていく。
- ・団地と戸建ではノウハウが異なる。地域の特徴を踏まえなければならない。

#### (4) その他各機関からの情報提供

### 3 その他

- ・講演会開催について

見守り講演会「あったかいまち栄 ～お互いに見守って心ぼかぼか～」

日時：平成27年9月9日（水）午後1時30分～3時30分

場所：栄公会堂

講師：岸 恵美子先生（東邦大学看護学部教授）

- ・次回分科会について（予定）

2月29日（月）午後2時～4時

改めて文書で通知いたします。



## 平成 27 年度 第 2 回高齢者安全対策分科会

日時：平成 28 年 2 月 29 日（月）14 時～16 時  
会場：栄区役所本館 4 階 2 号会議室

### 次 第

- 1 挨拶
  
- 2 報告
  - (1) 平成 27 年度高齢者安全対策分科会及びサーベイランス分科会
  - (2) 各課題別取組み
    - ア 高齢者の転倒・転落防止
    - イ 高齢者虐待の防止
    - ウ ヒートショック対策・ヒートショックプロジェクト
  
- 3 議事
  - (1) 講演  
「地域で出来る見守り活動について」  
講師：東邦大学看護学部教授 岸 恵美子 氏
  - (2) グループワーク  
テーマ：「見守りのポイント」を活用して
  - (3) 質疑応答・講師講評
  
- 4 事務連絡  
次年度スケジュール及び取組みについて

## 平成27年度 第2回高齢者安全対策分科会 議事録

日時：平成28年2月29日（月）14時～16時  
会場：栄区役所本館4階2号会議室

### 1 挨拶

### 2 報告

(1) 平成27年度高齢者安全対策分科会及びサーベイランス分科会  
資料参照

(2) 各課題別取組み

ア 高齢者の転倒・転落防止  
資料参照

イ 高齢者虐待の防止  
資料参照

ウ ヒートショック対策・ヒートショックプロジェクト  
資料参照  
田中委員よりプロジェクトについて報告

### 3 議事

(1) 講演（資料参照）

「地域で出来る見守り活動について」

講師：東邦大学看護学部教授 岸 恵美子 氏

(2) グループワーク

テーマ：「見守りのポイント」を活用して  
別紙参照

(3) 質疑応答・講師講評

Q. 先生が関わった事例で印象に残ったものはどういったものですか

A. ある自治会の事例。井戸端会議で情報共有したり、地域の力として見かけなくなった人を気になったその日のうちに対応するなど「ここからは孤立死をださない」という気持ちで、地域で取り組みを行った。  
この地域が好きであり、「孤立死がでることが寂しいと思うと孤立死が出ないように取り組む」のではないだろうか。

#### 4 事務連絡

次年度スケジュール及び取り組みについて

- ・次年度は転倒予防に取り組みます
- ・次年度分科会について（予定）  
第1回分科会は6月頃の開催を予定しております。  
改めて文書で通知いたします。

## 平成 27 年度

# 第1回 栄区セーフコミュニティ推進協議会 災害安全対策分科会

日時:平成 27 年4月 21 日(火)15 時 00 分から

場所:栄区役所新館4階 7号会議室

## 次 第

- 1 栄区セーフコミュニティについて . . . 資料 1
- 2 再認証に向けた今後のセーフコミュニティの進め方について . . . 資料 2
- 3 平成 26 年度 防災の取組について . . . 資料 3
- 4 災害安全対策分科会の取組の進捗状況について . . . 資料 4
- 5 平成 27 年度の防災の取組について . . . 資料 5
- 6 防災フェアの開催について . . . 資料 6
- 7 栄区防災講演会の開催について . . . 資料 7

※次回分科会は平成 27 年 10 月頃を予定しています。

平成 27 年度 第 1 回災害安全対策分科会																									
日 時	平成 27 年 4 月 21 日 (火) 15:00~17:00																								
開催場所	栄区役所 新館 4 階 7 号会議室																								
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栄区セーフコミュニティについて</li> <li>2 再認証に向けた今後のセーフコミュニティの進め方について</li> <li>3 平成 26 年度 防災の取組について</li> <li>4 災害安全対策分科会の取組の進捗状況について</li> <li>5 平成 27 年度の防災の取組について</li> <li>6 防災フェアの開催について</li> <li>7 栄区防災講演会の開催について</li> </ol>																								
議 事	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">1 栄区セーフコミュニティについて</td> </tr> <tr> <td>磯崎座長</td> <td>セーフコミュニティの認知度は若年層を中心にまだ低い。今年度中の認知度 50%達成を目指して分科会の活動を進めたい。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2 再認証に向けた今後のセーフコミュニティの進め方について</td> </tr> <tr> <td>磯崎座長</td> <td>セーフコミュニティの活動は定義を知るだけでなく、実際に体を動かして理解しなければならない。</td> </tr> <tr> <td>小石委員</td> <td>区役所、警察署、消防署が行政間の連携を強め、活動の効率化を図る必要がある。年ごとに具体的なテーマを絞り、個別に強化していくのはどうか。</td> </tr> <tr> <td>加藤委員</td> <td>自分たちの活動がセーフコミュニティの活動につながっていることは、区民に理解されているのか。</td> </tr> <tr> <td>石山委員</td> <td>セーフコミュニティの名前が一人歩きして中身が伴っていないのではないか。分科会ごとの活動 PR を個別にしなければ、包括的すぎて伝わりにくいのではないか。</td> </tr> <tr> <td>毛利委員</td> <td>PR をどう行うかはともかく、活動は実際によく行われている。</td> </tr> <tr> <td>武田委員</td> <td>個別の活動が持つ大きな目的を周知するため、セーフコミュニティの腕章を付けるのはどうか。</td> </tr> <tr> <td>中村委員 (飯島委員 代理)</td> <td>学校として、児童の保護者にセーフコミュニティの活動を周知することにより、若い年代の認知度向上が期待できる。</td> </tr> <tr> <td>黒木委員</td> <td>従来表面化していなかった地域の活動を公に PR していくことが必要だ。小学校児童の保護者は三十代から四十代前半が多いため、学校がセーフコミュニティ周知の窓口になり得る。</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>のぼりによってセーフコミュニティの単語自体は多くの区民が目に見えているはずですが、メリットが伝わっていないおそれが</td> </tr> </table>	1 栄区セーフコミュニティについて		磯崎座長	セーフコミュニティの認知度は若年層を中心にまだ低い。今年度中の認知度 50%達成を目指して分科会の活動を進めたい。	2 再認証に向けた今後のセーフコミュニティの進め方について		磯崎座長	セーフコミュニティの活動は定義を知るだけでなく、実際に体を動かして理解しなければならない。	小石委員	区役所、警察署、消防署が行政間の連携を強め、活動の効率化を図る必要がある。年ごとに具体的なテーマを絞り、個別に強化していくのはどうか。	加藤委員	自分たちの活動がセーフコミュニティの活動につながっていることは、区民に理解されているのか。	石山委員	セーフコミュニティの名前が一人歩きして中身が伴っていないのではないか。分科会ごとの活動 PR を個別にしなければ、包括的すぎて伝わりにくいのではないか。	毛利委員	PR をどう行うかはともかく、活動は実際によく行われている。	武田委員	個別の活動が持つ大きな目的を周知するため、セーフコミュニティの腕章を付けるのはどうか。	中村委員 (飯島委員 代理)	学校として、児童の保護者にセーフコミュニティの活動を周知することにより、若い年代の認知度向上が期待できる。	黒木委員	従来表面化していなかった地域の活動を公に PR していくことが必要だ。小学校児童の保護者は三十代から四十代前半が多いため、学校がセーフコミュニティ周知の窓口になり得る。	事務局	のぼりによってセーフコミュニティの単語自体は多くの区民が目に見えているはずですが、メリットが伝わっていないおそれが
1 栄区セーフコミュニティについて																									
磯崎座長	セーフコミュニティの認知度は若年層を中心にまだ低い。今年度中の認知度 50%達成を目指して分科会の活動を進めたい。																								
2 再認証に向けた今後のセーフコミュニティの進め方について																									
磯崎座長	セーフコミュニティの活動は定義を知るだけでなく、実際に体を動かして理解しなければならない。																								
小石委員	区役所、警察署、消防署が行政間の連携を強め、活動の効率化を図る必要がある。年ごとに具体的なテーマを絞り、個別に強化していくのはどうか。																								
加藤委員	自分たちの活動がセーフコミュニティの活動につながっていることは、区民に理解されているのか。																								
石山委員	セーフコミュニティの名前が一人歩きして中身が伴っていないのではないか。分科会ごとの活動 PR を個別にしなければ、包括的すぎて伝わりにくいのではないか。																								
毛利委員	PR をどう行うかはともかく、活動は実際によく行われている。																								
武田委員	個別の活動が持つ大きな目的を周知するため、セーフコミュニティの腕章を付けるのはどうか。																								
中村委員 (飯島委員 代理)	学校として、児童の保護者にセーフコミュニティの活動を周知することにより、若い年代の認知度向上が期待できる。																								
黒木委員	従来表面化していなかった地域の活動を公に PR していくことが必要だ。小学校児童の保護者は三十代から四十代前半が多いため、学校がセーフコミュニティ周知の窓口になり得る。																								
事務局	のぼりによってセーフコミュニティの単語自体は多くの区民が目に見えているはずですが、メリットが伝わっていないおそれが																								

	あります。具体的な成功事例を分科会で募集し、周知したいと考えています。
磯崎座長	皆様の意見は尊重し活かしていく。区民、町民に分かるような施策を行う。
毛利委員	地域で行われるイベントの機会に腕章や帽子を着用して PR するのはどうか。
事務局	栄区にはすでに安全・安心を目指した多くの取組があります。それらをつなぐきっかけとして、またそれらを推進する理由づけになるようセーフコミュニティ活動を広めていきます。
3 平成 26 年度 防災の取組について	
4 災害安全対策分科会の取組の進捗状況について	
5 平成 27 年度の防災の取組について	
6 防災フェアの開催について	
7 栄区防災講演会の開催について	
磯崎座長	全員のご意見をいただきありがとうございました。新しい試みを含め、一緒に PR を行っていきましょう。
全員	異議なし。

平成 27 年度

第2回 栄区セーフコミュニティ推進協議会  
災害安全対策分科会

日時:平成 27 年 12 月 9 日 (水) 15 時 00 分から

場所:栄区役所新館4階 7号会議室

次 第

- 1 セーフコミュニティフォーラム実施結果について . . . 資料 1
- 2 栄区傷害サーベイランス分科会結果について . . . 資料 2
- 3 平成 27 年度上半期防災の取組について . . . 資料 3
- 4 水害対策マニュアルの策定について . . . 資料 4
- 5 栄防災フェアの開催について . . . 資料 5

※次回分科会は平成 28 年 3 月頃を予定しています。

平成 27 年度 第 2 回災害安全対策分科会		
日 時	平成 27 年 12 月 9 日 (水) 15 : 00 ~ 16 : 00	
開催場所	栄区役所 新館 4 階 7 号会議室	
次 第	1 セーフコミュニティフォーラム実施結果について 2 栄区傷害サーベイランス分科会結果について 3 平成 27 年度上半期防災の取組について 4 水害対策マニュアルの策定について 5 栄防災フェアの開催について	
議 事	1 セーフコミュニティフォーラム実施結果について	
	2 栄区傷害サーベイランス分科会結果について	
	石山	豊田、笠間付近は川の下流地域なので、増水した際に上流である程度水を食い止めるような対策を行政で考えてほしい。
	毛利委員	水が逆流して被害が大きくなることも多い。
	磯崎委員	内水については、金井公園周辺や長沼の一部で工事が始まっている。県で柏尾川の遊水地を設ける工事も進行している。
	加藤委員	崖崩れの対策をしているが、指定するだけでなく、何か手を打つのか。また、国有地と私有地が重なった崖地の対策は進んでいるのか。
	事務局	個人の場合には助成金を出している。また、国有地と私有地が重なっている崖地での対策についても、建築局と国の方で話を進めていると聞いている。
	加藤委員	茨城県では大きな水害があった。継続的に避難訓練を行うことで、区民も実感を得られるのではないかと。
	毛利委員	津波の心配がない地域でも、内水や洪水を想定し、電柱などに「ここは海拔〇〇m」という表示をつけた方がよい。
	3 平成 27 年度上半期防災の取組について	
	黒木委員	小山台小学校は地域防災拠点に指定されているが、小学校の体育館は小規模のため、避難者を全員受け入れることが難しい。小山台中学校の校長から、災害時には小山台小学校と協力して避難者を受け入れたいとの提案があった。今年の避難訓練には小山台中学校の教員が数名参加し、また、2月には小山台中学校付近の貯水池で防災訓練を予定している。
	事務局	区としても、小山台中学校を補助的に使用することは考えている。ただ、自宅が無事な方についてはできるだけ自宅に留まっていた方がよい方針もあるため、両面で対応を進めていく。



	4 水害対策マニュアルの策定について
	5 栄防災フェアの開催について
石山委員	柏尾川の増水の具合を見て避難計画を立てたいので、降り始めの時点で行政から随時情報を入れてほしい。
事務局	横浜市のホームページ上では雨量情報や河川水位を逐次更新している。広報車での広報も行うが、区から個別に連絡することは難しいため、自ら情報を取得してほしい。
加藤委員	高齢者など、パソコンやスマホを使えない住民もいる。また、広報車を出しても、雨戸を閉めていると聞こえないことがある。
事務局	地域福祉計画の中で高齢者への情報提供を考えていると聞いている。
小石委員	サイレンも山などの遮蔽物があったり、風向きにより聞こえづらいことがある。助成金によって高台へ移動できないか。
磯崎委員	田谷町内会など、独自に防災スピーカーを設置した例もある。また、毎月防災訓練の際に放送を行うなど、定期的に使用することも必要となる。

# 平成 27 年度 栄区セーフコミュニティ 第 1 回自殺予防対策分科会

日時：平成 27 年 6 月 25 日(木)

13 時 15 分～15 時 00 分

場所：栄区役所本館 4 階 2 号会議室



## 1 開会

## 2 報告

- |                                    |              |
|------------------------------------|--------------|
| (1) 平成 26 年度自殺予防対策の取組について          | 資料 1 (P 1 ～) |
| (2) 区役所職員対象 さかえ・ハートフルサポーター基礎研修について | 資料 2 (P 7 ～) |
| (3) 平成 26 年度栄区傷害サーベイランス分科会について     | 資料 3 (P17～)  |
| (4) 平成 27 年度栄区セーフコミュニティ推進協議会について   | 資料 4 (P59～)  |

## 3 議題

- |                            |             |
|----------------------------|-------------|
| (1) 平成 27 年度自殺予防対策の進め方について |             |
| ・取組スケジュール                  | 資料 5 (P61～) |
| ・取組について                    | 資料 6 (P63～) |

## 4 その他

### <資料>

- ・席次
- ・委員名簿
- ・栄区セーフコミュニティ推進協議会自殺予防対策分科会運営要綱
- ・平成 26 年度自殺予防対策取組実績【資料 1】
- ・さかえ・ハートフル通信【資料 1 - 2】
- ・ハートフルサポーター基礎研修の報告【資料 2】
- ・平成 26 年度傷害サーベイランス分科会資料【資料 3】
- ・平成 27 年度第 1 回 栄区セーフコミュニティ推進協議会資料【資料 4】
- ・平成 27 年度の取組スケジュール(案)【資料 5】
- ・平成 27 年度 自殺対策予防の取組について【資料 6】

次回 平成 27 年 8 月 27 日(木) 13:15 ~ 15:00
--------------------------------------

## 平成 27 年度栄区セーフコミュニティ 第 1 回自殺予防対策分科会 議事要旨

日時：平成 27 年 6 月 25 日(木)13 時 15 分～14 時 15 分

場所：栄区役所新館 4 階 2 号

出席者委員 牛尾委員・江口委員・小田原委員・川島委員・北内委員・竹村委員・田中委員  
田中委員・宇元委員（三善委員代理）

欠席委員 芦川委員・臼井委員

出席オブザーバー 吉田氏・新海氏・山上氏

欠席オブザーバー 安東氏

事務局 尾仲（栄区長）

多田（福祉保健センター長）・前田（福祉保健センター担当部長）

小泉（福祉保健課長）・飛鳥田（医務担当課長）・守田（高齢障害支援課長）

望月（事業企画担当係長）・椎名（障害支援担当係長）・鳥山（運営企画係長）

瀧澤（区政推進課企画調整係長）

担当職員 4 名

### 1 開会

（課長）

前座長 河西委員の転勤に伴う、新座長 小田原委員の紹介

（座長）

あいさつ

（課長）

新委員 4 人紹介

代理出席委員紹介

事務局新メンバー紹介

### 2 報告

(1) 平成 26 年度自殺予防対策の取組について

事務局から「資料 1」及び「資料 1-2」説明

(2) 区役所職員対象 さかえ・ハートフルサポーター基礎研修について

事務局から「資料 2」説明

(3) 平成 26 年度栄区傷害サーベイランス分科会について

事務局から「資料 3」説明

(4) 平成 27 年度栄区セーフコミュニティ推進協議会について

事務局から「資料 4」説明

### 3 議題

#### (1) 平成 27 年度自殺予防対策の進め方について

- ・取組スケジュール  
事務局から「資料 5」説明
- ・取組について  
事務局から「資料 6」説明

座長： 分科会ごとに達成目標があり、行っているイベントや取組を積み重ねていくのが今の方法のようだが、この年次ごとの計画は、傷害サーベイランス分科会で出た意見を、活動内容に反映できているのか。

年度ごとに自殺の背景も違う。また、小さいときに虐待を受けていた子は、自傷、自殺するリスクが高まるなどということもある。高齢者では、貧困の問題や生活支援ということが非常に重要になってくる。講演会や研修も、自殺という切り口だけでなく、いろいろな会の取組をパッケージにした研修会するなども考えられないか。各分科会が縦割りではなく、いろんな分科会を一緒にしたような取組を研修、講演にも盛り込んでいった方が、より理にかなっているのではないかという印象がある。そういう調整をするのが、傷害サーベイランス分科会だと考えている。

今年度、すぐできるところではないとすれば、次年度、今年度のサーベイランス分科会で事前に調整してみたいか。

区長： まさに、傷害サーベイランスのほぼ全員の委員から言われていること。行政の施策で分科会をつくっているが、現場は常に重なり合っている。重なり合っているところをもう少し、例えば複数分科会の共同開催や、ひとつのテーマで複数の分科会が講演会を開催するとか、こども関係で、虐待関係もあれば学校関係もある。家庭が苦しんでいるこどもをテーマにフォーラムを行うことで共有できた部分もあった。自殺の場合、どのような形がいいのかは、検討が必要だが、ぜひ、分科会同士の連携の中で動かしていただきたい。

座長： 進捗状況で、数値目標のうち特に遅れているものはございますか。

事務局： 特になし

### 4 その他

事務局より 次回開催日程 平成 27 年 8 月 27 日（木）13：15～15：00

（閉会）

## 平成 27 年度 栄区セーフコミュニティ 第 2 回自殺予防対策分科会

日時：平成 27 年 8 月 27 日 (木)  
13 時 15 分～15 時 00 分  
場所：栄区役所新館 3 階研究室

### 1 開会

### 2 報告

- (1) セーフコミュニティ推進会議（8 月 13 日開催）の内容について 【資料 1】
- (2) さかえ・ハートフルサポーター育成研修及び  
栄区メンタルヘルス支援ネットワークの実施状況について 【資料 2】
- (3) 各委員より直近の取組み等について

### 3 議題

- (1) メンタルヘルス講演会について
- (2) 今後の相談、啓発等自殺予防の取組について

### 4 情報共有

- (1) 9 月自殺対策強化月間における取り組み内容について 【資料 3】

### 5 その他

#### <資料>

- ・座席表
- ・委員名簿

\*セーフコミュニティ推進会議資料（資料 1）

\*さかえ・ハートフルサポーター育成研修及び栄区メンタルヘルスネットワークの実施状況について（資料 2）

\*9 月の自殺対策強化月間等の取組について（資料 3）

- ・平成 26 年における横浜市の自殺者の状況
- ・さかえ・ふれあいコンサート（11/1）ちらし
- ・こころの健康セミナー（9/27）ちらし
- ・さかえセーフコミュニティフォーラム（10/3）ご案内

平成 27 年度 第 2 回自殺予防対策分科会 議事要旨  
平成 27 年度栄区セーフコミュニティ 第 2 回自殺予防対策分科会 議事要旨

日時：平成 27 年 8 月 27 日(木) 13 時 15 分～14 時 15 分

場所：栄区役所新館 3 階研究室

出席者委員 芦川委員・牛尾委員・臼井委員・江口委員・小田原委員・川島委員・北内委員・竹村委員・田中伸一委員・田中孝秀委員・三善委員

欠席委員 なし

出席オブザーバー 吉田氏・新海氏・山上氏

欠席オブザーバー 安東氏

事務局 多田（福祉保健センター長）・前田（福祉保健センター担当部長）  
小泉（福祉保健課長）・守田（高齢障害支援課長）  
望月（事業企画担当係長）・椎名（障害支援担当係長）  
瀧澤（区政推進課企画調整係長）  
担当職員 2 名

## 1 開会

(座長)

開会

(センター長)

あいさつ

## 2 報告

### (1) セーフコミュニティ推進会議(8/13 開催)の内容報告

事務局から「資料 1」説明

### (2) さかえ・ハートフルサポーター育成研修及び栄区メンタルヘルス支援ネットワークの実施状況について

事務局から「資料 2」説明

#### 《関係者、参加者よりコメント》

##### 竹村委員(栄警察署)

- ・警察職員は、自殺に関して、既遂も含め数多く出動しているが、要因、接し方、予防につながる援助は知らなかった。
- ・家族へは「言動によく注意するように」と話していたが、具体的にどのようなところに気をつければよいのか、わかっていなかったことが、よくわかった。
- ・異動による転入者だけでなく、既講者も知識を積み重ねていくということで今後も続けていくことが大切だと思う。

→ (座長)

- ・いろんな視点から事象を見ることで、対応の仕方などの広がりも出てくると思う。

##### 北内委員(薬剤師会)

- ・統合失調症の方で、症状もあり服薬管理が絶対にもかかわらず、薬に不信感を持っている方の事例であった。今回、薬剤師の立場で参加をしたが、こういう方をケアするには、医療

平成 27 年度 第 2 回自殺予防対策分科会 議事要旨  
の方や福祉の方、色々な方の関わりが必要と感じた。

・昨年まで参加していなかったけれど、私たち薬剤師も参加することに意味があると感じられた。

→ (座長)

- ・大概の患者さんは、医師には「薬は飲んでいる」と言うし、そうとしか言えない状況である。普段の生活を支える方から、関係性を作ることが医療や生活支援に非常に重要。
- ・多職種で事例検討することは大きな意味がある。
- ・このような研修を通じて、自殺予防対策の事象に対する理解が深まることを期待したい。

### (3)各委員より直近の取組について

#### 新海オブザーバー(横浜市こころの健康相談センター)

警察の協力のもと、統計データをまとめた。(資料に基づき説明)

- ・警察のデータは、発生地のため、必ずしも横浜市民ではないが、9割強が実際の横浜市民である。
- ・(平成 26 年は) 近年 10 年間で、もっとも低くなっている。自殺はいろんな要因で発生するもので、経済状況など自殺率を上げる要因が減ったこともあり、自殺予防対策の取組の結果とは必ずしも言えず、検証が必要である。
- ・傾向は、年度によっても変わるため一概に言えない。横浜市では、平成 26 年は 3/31 にもっとも自殺が多く、続いて 3/20、4/7、9 月初旬となっている。近日、若年者層で夏休み明け前に自殺が多いとマスコミ関係で報道があったが、横浜市ではその傾向はみられない。

→ (座長)

- ・ご覧になって、ご質問あれば、事務局へお願いします。

## 3 議題

### (1)メンタルヘルス講演会について

#### 事務局

障害者支援担当の窓口で日々相談を受けている中で、「家族機能がしっかりしていると、本人の疾患を一部ではあるが、補完できる」と感じている。座長の小田原先生にもご相談しながら、11 月開催予定で調整している。

→ (座長)

- ・昨年度は、「精神科医が語るうつ病と自殺予防の話」と題して講演会を行った。
- ・今年は児童期の生活環境などに焦点をあてた内容で、児童精神科の先生にお話ししていただくことで企画している。
- ・詳細が決まりましたら、事務局より委員のみなさまに周知をお願いしたい。

### (2)今後の相談、啓発等自殺予防の取組について

#### 事務局

自殺の思いをお持ちの方、自死遺族の方を対象に、ホットラインを開設し相談への対応を実施している。2 年近くになるが、その間 14 件ご相談をいただいた。「死」という言葉があった方が 3 件、自分が統合失調症でつらいが 7 件、統合失調症のご家族の方が 2 件、そのほかアルコール依存の夫への不満、遺産相続、認知症のご家族など多岐にわたっている。「死」

「自殺」に特化した相談はあまりない。

チラシやカードなどを関係機関、関係団体へ配布している。今年度は新たにインターネットカフェに配っているが、死の気持ち、意識を持ち続けている方に対して、こんな PR があつたらどうか、こんなやり方だったらどうかなどのアイデア、アドバイスをいただきたい。

→ (座長)

- ・今、栄区の相談電話の実施状況について報告がありました。
- ・横浜市の相談窓口と内容が差別化ができるものではないということ、隔週の 2 時間という非常に限られた枠で運用で、制約もある。
- ・それらを踏まえて、こんな風にしてみたらどうかなどご意見、いかがでしょうか。

Q使われた十数名の方は、どこでこの電話を知ったのか？

⇒把握していない。

Q電話相談の後のことはどうなのか。相談することによって、どこかにつながったなどはあるのか。

⇒関係機関の紹介や、気持ちのサポート、ホットラインの継続利用、考え方の支持、家族会や生活支援センターなどの関係機関をご紹介した。匿名制になっているため、後々の確認は限界があり難しい。

Q隔週 2 時間の枠はいつもまっているのか。それとも空きがあるのか。それによって、PR をしていくべきなのか、変わってくると思う。

⇒今年はいくつかまで 8 回で電話 6 件、去年は 2 4 回で電話 4 件。空きはある。

Q「死にたい」「自死遺族 (大切な方を自死でなくされた)」と明記しているが、もう少し幅を広くしてもいいのか。

⇒対応は可能

(座長)

- ・初年度ではないので、相談につながるよう、もう少し工夫していけたらよい。
- ・パンフレットではこころの相談センターの受け付けは全般的な悩み相談だが、ホットラインの方は「死」を出して、少し差別化してはいる。それも含め、アイデアがございましたら、事務局へお願いしたい。

#### 4 情報共有

##### (1) 9 月自殺対策強化月間における取り組み内容について

\*事務局から「資料 3」説明

\*こころの相談センター 市の強化月間の取組について

- ・9/10 鉄道会社 6 社の協力のもと、横浜駅構内で街頭キャンペーン
- ・9/27 心の健康セミナー
- ・9/11、15、25、29 自殺予防週間特別相談会 (市庁舎 1 階市民相談室)
- ・9/16・17 東急全線で電車内中吊りに啓発ポスター掲示

#### 5 その他

\* 田中伸一委員(保健活動推進員)

- ・今日は 18 区のまとめた市の数字があつたが、その中の栄区の数字、特にセーフコミュニティに取り



平成 27 年度 第 2 回自殺予防対策分科会 議事要旨  
組んで以降の数字の推移、自殺の傾向、地区別の数字などを少し整理してみてもどうか。

→ (座長)

栄区のデータをこの場で共有してはどうかとのご意見をいただきましたが、いかがでしょうか。

(事務局)

自殺に関するデータを警察、消防にもご協力のもとデータでいただいておりますが、自殺の数が少ないこともあり、栄区の特徴を出したり、分析するには至っていません。そのため、区のデータにこだわらず、市のデータなどを参考に組みたいと考えている。

(座長)

数は少ないので、分析は難しいのかもしれないが、実態の報告のみという形ではいかがでしょうか。

(事務局)

第 3 回の分科会で実績をお伝えできるよう準備する。

(田中委員)

セーフコミュニティなので、「地域で」というのが本来の趣旨。自殺に関しては取扱いが難しいが、他の虐待などのように、どんどん地域に出してもらい、地域でもう少し盛り上がってつながりが深まるようにしたいと思う。

(座長)

個々の事例から見える背景から取組を考えてはどうかという、栄区のセーフコミュニティとしての視点でのご発言をいただいた。ビッグデータから対応を考えることも大切ですが、地区の特性を理解して、症例の背景を理解して取り組んでいくことも大事なことだと思う。可能な限りで構わないので、次回に、よろしくお願ひしたい。

#### \* 三善委員(栄消防署)

隊員に自殺に関する状況を聞いてきたので、ご報告。

栄区内に救急隊が 2 隊。1 隊につき月数回、未遂を含め扱っている。

現場の感覚では、

- ・首つり、リストカット、薬の多飲が多い。
- ・年代は、特徴はない。
- ・死に至るのは首つりが多く、リストカットや薬の多飲は未遂が多い。
- ・地域特性や偏りは少ない。
- ・区内の鉄道駅は本郷台駅のみ、飛び込みは少ない。

→ (座長)

・おっしゃられたことと重なるが、縊頸はかなり致死的な手段で、多量服薬やリストカットも繰り返していくうちに死に至ることもあるので、集中したケアが必要。

・こういった現場の声と実績を合わせて見えてくることを話せたらと思う。

#### \* 芦川委員(民生委員児童委員)

近頃、こどもの自殺が多い。栄区ではそれほどないようだが、主任児童委員が学校と連携しながら考えている。こどもの自殺の場合、要因はいじめのほか、家庭の事情が考えられるようだ。民生委員ではいじめの話までで、いじめから自殺に至るまでは話していないが、そこまでつなげて考えていけたらいいと思う。

教育相談や市でいじめ 110 番を行っているが、区にはどの程度まで情報が入ってきて、つながっているのか、それを受けてどういう対応がなされるのか、そういうところも明らかになると、民生委員は担当している地区があるので、その人たちを中心に組みむという手だてを考えていけると思う。

地区に話に来てもらって、相談内容やどう対応しているか、民生委員としてどう関わられるかなどのつながりがあるといい。実際に聞きたいという声もある。

→ (座長)

- ・数としては、解析するほどはないので、ネットワークで児童症例の事例を検討することも重要かもしれません。
- ・また、区でも児童関連の分科会もあるので、分科会ごとの情報共有も重要という視点もある。
- ・そういった視点から、今年の講演会は児童期の親の接し方というところで自殺を防止できないかというテーマにしている。
- ・多面的に自殺をとらえるのは大切なこと。
- ・児童、勤労者、高齢者、経済的といった視点で事務局でも取組を検討いただきたい。

#### \* 新海オブザーバー(こころの相談センター)

本日、庁内の集まりがあった。そこで、警察統計はわからないが、教育委員会から実際は自殺であっても、様々な配慮から数字上は自殺になっていないことがあるそうで、実際は、もう少し多いのではないかという話があった。若年層の対策は必要と感じている。

図書館の司書が「夏休み明け前に自殺が増える」の報道を見て、SSN に「図書館においで」と投稿したところ反響が大きかった。行政としても自殺を防ぐために、図書館と一緒に居場所づくりや、ケアプラザなどもいいのかと思った。今のところ市で何かするということはないが、栄区でいい取組がでてくるといいと思う。

→ (座長)

- ・いじめによる自殺は、パブリックで事例検討すると犯人探しにつながる等、非常にデリケートな部分がある。
- ・教育委員会の意向等もあるし、居場所づくりに関して教育の一環としてそういうことがいいのかどうか。何か起こった場合には、誰かが責任をとらなければならないし、非常に難しい、色々な壁があること。
- ・そのようなことを自治体、あまり広すぎない区という単位で何か革新的なことができるかどうかということとは、わからない。
- ・少なくとも教育という視点でどこまで広げられるのか、課題としました。
- ・実際にやるかどうかはあっても、一石を投じるようなダイナミックな意見も大切。
- ・この会議の場は、発案する場であってほしいし、そういう意見も出たということはいいこと。区の方でも情報共有していただきたい。

#### \* 事務局

セーフコミュニティフォーラム (10/3 開催) のご案内と出欠連絡のお願い

(閉会)

## 平成 27 年度 栄区セーフコミュニティ 第 3 回自殺予防対策分科会

日時：平成 28 年 3 月 1 日(火)  
13 時 30 分～15 時 00 分  
場所：栄区役所新館 4 階 9 号会議室

### 1 開会

### 2 報告

- (1) 最近の事例から 【資料 1】
- (2) 自殺予防対策の取組について(9月～) 【資料 2】
- (3) 傷害サーベイランス分科会(1/26)について 【資料 3】
- (4) 3月自殺予防対策強化月間の取組について 【資料 4】

### 3 議題

- (1) 平成 26 年栄区における自殺の状況について 【資料 5】
- (2) 28 年度の自殺予防対策について 【資料 6】

### 4 情報共有

### 5 その他

<資料>

- ・ 座席表
- ・ 委員名簿

平成 27 年度 第 3 回自殺予防対策分科会 議事要旨  
平成 27 年度栄区セーフコミュニティ 第 3 回自殺予防対策分科会 議事要旨

日時：平成 28 年 3 月 1 日(火)13 時 30 分～15 時 00 分

場所：栄区役所新館 4 階 9 号会議室

出席者委員 芦川委員・牛尾委員・小田原委員・川島委員・北内委員・須山委員・田中伸一委員・三善委員

欠席委員 白井委員・江口委員・田中孝秀委員

出席オブザーバー 吉田氏・山上氏

欠席オブザーバー 安東氏・新海氏

事務局 尾仲（栄区長）・多田（福祉保健センター長）・前田（福祉保健センター担当部長）  
小泉（福祉保健課長）・守田（高齢・障害支援課長）・中村（生活支援課長）・  
飛鳥田（医務担当課長）  
望月（事業企画担当係長）・椎名（障害者支援担当係長）・瀧澤（区政推進課企画調整係長）・担当職員 3 名

## 1 開会

（座長）

開会

（尾仲区長）

あいさつ

- ・セーフコミュニティには色々な分科会があるが、各分科会熱心にご議論いただき、ありがたく思っている。
- ・安全、安心のまちでありながら、色々な福祉の多面的な課題が出てきていると実感している。
- ・具体的には、生活困窮者については顕在化せず孤立化しているといった問題や、子どもの貧困、栄区では少ないがごみ屋敷の問題など。ごみ屋敷については、9 月の条例に向け、市では福祉的アプローチから解決しようとしている
- ・従来の福祉 6 法という枠でみてきた概念から、だいぶ幅広い福祉分野に踏み込んでいけない状況になっている。
- ・このようなことをしっかりと行っていくことが、ある意味では自殺予防につながっていくことと思っている。

## 2 報告

### (1) 最近の事例から

事務局から「資料 1」説明

（座長）

- ・前回、具体的な例を通じて、検討したらどうかという話があったので、このような形で準備した。
- ・詳細な事例検討はこれからとなるため、細部についてはこちらの資料では控えている。
- ・委員のみなさまで、お考えになること、お気づきのことは施策に反映していくべきと思う。
- ・事実関係について確認、知りたいことあれば質問を。

（田中伸一委員）

- ・ケース 1 の住宅はどのような住宅形態だったか。
  - ・ケース 2 は高層住宅となっているが、そこにお住まいだったのか。
- ケース 1 は、団地の自室内、ケース 2 は住まいの住宅の自室のベランダ(7 階)

(芦川委員)

- ・生活保護受給ということだが、民生委員のかかわりはどうだったのか。状況を把握していたのか。
- ケース1は、地元民生委員が、かなり見守りをしていただいていた事例。後日聞いたところでは、以前にも事業所に通わなくなったことが度々あったので、今回も前回と同じかなと最初思ったとのことだった。
- ・ケース2は、民生委員の絡みはなかった。

(芦川委員)

- ・ケース1の方は、状況を把握して、民生委員はどの程度、どう対応していたのか。
- 休んでいて連絡がとれないといった場合には、区役所が行くかわりに民生委員の方に様子を見に行ってもらったこともあった。心配な場合は区役所に連絡をしていただいたりしたこともあった。

(座長)

- ・ケース1は、「医療・福祉・地域」が関与していたケースで、ケース2は「福祉・家族（精神疾患の子ども）・疾患、薬の副作用」をお持ちのケース
- ・事務局側で今後について4つの記載がありますが、まずは、この4つ以外でお考えのことがあればお願いしたい。

(吉田アドバイザー)

- ・就労移行支援施設は会社経営のところもあり、全体での支援やプログラム等内容はしっかりしているが、個別支援が弱い、十分でないというところもある。
- ・このケースの方が利用していた事業所がどのようなところかはわからないが、全体としてそういう就労移行支援事業の問題を感じた。
- ・福祉関係者としては、この事業がそういう状況にあるということを受け止めた上で対応していくということも必要ということだと思う。

(座長)

- ・この方は単身で地方から出てこられて、孤立していた、十分な支えとなる友人がいなかった中で、福祉、医療や施設という関わりは大切
- ・さらに、この方と個人的な関係を築ける人の関わりも考えていかないとと思われる事例

(田中伸一委員)

- ・この方は、障害者ではないのか。  
→精神疾患がある精神障害者
- ・支援計画、目標に対してどうだったのか？  
→・就労移行支援事業所というのは、2年間の間に障害者の雇用を目指す（必ずしも障害者雇用でなくてもよいが）事業所。2年間の間に訓練をしている。
  - ・基本的に2年間の間に雇用に至る方ということで、能力の高い方が通われている。
  - ・株式会社が参入していて、かなり多くの数の事業所があり、通いたい方も多い。区役所にも相談が多いが、飽和状態になっている。あまりに数が多くなっていて、個々にきちんと関われないという現状にある。
  - ・事業所も個々の支援を気にしてくださっている事業所もあるが、事業所の結果としては、どれだけ雇用に結びつけられたか。そこにとらわれていると個人支援が抜けてしまう事業所が出てくるのも事実。
  - ・そういうサービスの性質上、どこまでかかわっていけるのかということは、障害者支援担当としても考えていかないといけない。

(座長)

- ・障害者の方については、法令で法定雇用率などもあり、精神障害者の就労の希望も増えている中で、法律の枠組みの中、本質的な人手不足がありどこまでかかわるか、かかわれるかという問題がある。

- ・個人的な支援、どのような支援をしていくのか二人の委員の方からご意見をいただいたが、ハード面についてはどうか。

(田中伸一委員)

- ・以前は高島平が名所だったが、今はほとんど自殺がなくなっている。対策をして、自殺できないようになっている。
- ・以前からお願いしているが、ハードの整備が何でできないのか、できない要因があるのかもしれないと思う。
- ・UR などと話し合いを重ねながら、どういう風にするのが効果的なのか、万が一飛降りても助かる、ご本人もそこから飛降りようと思わない、これでは死ねないなど思えるようにならないと…
- ・（整備が）進まないのはなぜか。

(座長)

- ・ケース 2 は、飛降りたけれども助かった、というのは何らかの対策が講じられていたということか。→特に対策ということではないが、1階に屋根があり、助かった。屋上には柵が設置されている。

(座長)

- ・田中委員からご指摘があった点は、何か理由があるのか。例えば、高いところではセーフティネットなど考えられるが、相手もあることだが、実現可能性のあることか。→民間のものであれ、公共性のあるものであれ、働きかけが大事。

(尾仲区長)

- ・ハード面の整備について、表現が適切でないかもしれないが、「お住まいになっている人の特性をどう見るか」、極端な表現をすれば、「自殺をしかねない方々が多く住んでいる」と考えるなら、対策を講じるのは当然である。
- ・従来は、自殺はめったにないことであり、それに対して日々あることかのごとくハードを整備しているのか、という議論があった。
- ・高齢化が進み、自殺がまれに起こることではなく、時々起りうることになってきて、「団地は高齢者のひとり暮らしの方が多い、自殺があってもおかしくない」と想定すると、そういった団地に対策をすることになる。
- ・そうすると、団地は自殺が起り得ると表立って言っているのか、という話にもなる。そこまで踏み込んだ議論をしないといけない。
- ・相当な投資が必要で、公のお金を使う以上、そこには情報をオープンにしていくということまで、覚悟できないといけない。
- ・例えば、ケース 2 について、情報をオープンにしていくのであれば、田中委員がおっしゃるようなことも進めていけるでしょう。
- ・今までは、どうしても一般でなく、個々の案件として話しをしていた。
- ・どこがハードルなのか、というご質問はまさにそこにある。
- ・場所によっては、一般論として話した方がいいかもしれない。高島平、ベイブリッジについてはそのレベルだった。
- ・それ以外の地域で、一般論として話していくのがどうかという議論は残るが、「セーフコミュニティ都市だから」という考え方もあるのかもしれない。

(座長)

- ・自殺行動自体を、みんなで考えるという機運が高まっていくことで、そういうことを考えることが進んでいくのではないか。

## (2) 自殺予防対策の取組について(9月～)

事務局から「資料 2」説明

#### 《関係者、参加者よりコメント》

(吉田アドバイザー)

- ・メンタルヘルス従事者研修に参加したが、20 名程度の参加で、もったいないくらいの研修、意気込みを感じた。
- ・とても勉強になったので、2 人の先生をこの研修に来にとどまらずに、今後も関係をつないでいてほしい。

(田中伸一委員)

- ・保健活動推進員対象の基礎研修については、保健活動推進員の改選があったため開催を企画したが、継続の方はすでに受講済みの方もいるため、主に新しく委員になった方に、受講してもらった。
- ・「自殺予防」を前面に出すと重い課題で何人来てくれるかと不安になるが、参加された方からの感想を聞くと、思い過ぎだったと思う。入口として本当によかった、という反響があり、開催を企画してよかった。
- ・ワンランク上の講座、ロールプレイングなどもやってみたいという方がいらっしゃれば、検討していきたい。

(座長)

- ・区民向け講座については、児童精神科の先生で、他のテーマと絡めながら設定した。

#### (3) 傷害サーベイランス分科会(1/26)について

事務局から「資料 3」「資料 3-2」について説明

(座長)

- ・啓発の段階から、実際の取組を見える形にしていくよう指摘を受けている。
- ・精神障害といった視点も進めつつ、他にも生活困窮などを包括的にサポートする仕組み、医療機関との体制づくりなど、具体的にできることから始めたらどうかといわれている。

#### (4) 3 月自殺予防対策強化月間の取組について

事務局から「資料 4」について説明

(質問等 なし)

### 3 議題

#### (1) 平成 26 年栄区における自殺の状況について

事務局より「資料 5」「資料 5-2」について説明

(田中伸一委員)

- ・町別のデータは「発生地」か「住まい」か？  
→居住地なので、お住まいの方ということ

(須山委員)

- ・栄区に限らず自宅での自殺が多いので、その意味では居住地のデータも参考になる。
- ・今回は H26 年のデータで、H27 年の数がまだ正確にでていないが、減少していると見込まれる。取組によってある程度の効果が出てきているのだとよい。
- ・データでみると、「首つり」が多い。首つりというと、高いところにひもを絡め、台に乗るのをイメージするが、実際は膝まづいて行われ、高さは必要ない。飛降りでのハード面の整備の話があったが、

首つりを思いとどませるようなハード面の整備は難しい。

- ・屋上はできても、自宅のベランダに対して行うとすとなかなか難しい。
- ・自宅内で首つりを防ぐことを考えると、家族の存在が大きい。その家族と福祉等関係者の連携も大切。

(座長)

- ・既遂者と未遂者の手段に違い、他でも報告されているように栄区でも違いがある。
- ・市と比較するとどうか。

(山上アドバイザー)

- ・市とのデータを比較して、26 年のものになるが、40 歳代、50 歳代、60 歳代が出ていたが、福祉だけでなく、医療機関や薬局などが補完し合えるようになったからではないかと言われているが、話ができる人が増えた、自殺対策というよりは、困っていることがいいやすくなったと言われている。
- ・10～30 歳代、若年層への自殺対策が重要視されている。一口に若年層といっても、国では、39 歳以下が若年層。中学生、高校生、社会人 1、2 年目と 39 歳では、それぞれ違うのではないかと、いうところに来ている。
- ・去年の新聞で、9/1 が一番自殺が多いと言われたが、大きな休み、春休み、ゴールデンウィークと続くので、大人としての見守りを、という注意喚起が出ている。
- ・大人になるとためらいもあるが、10 歳代の自殺は、未遂でなく、既遂になることが多い、突発的な場合も多い。紹介のあった事例でも、就労支援といった仕組みの中の関わる人ではなく、家族、友人、近所の人などがゲートキーパーとして見守りできたらよいのではないかと。孤立させない、人間の関係性をつくるにはどうしたらいいのかということが課題。
- ・市では、予算次第ではあるが、28 年度自殺に関する市民アンケートを行う予定。

(座長)

- ・孤立しない、させないまちづくり、そういう人間の関係性をつくるにはどうしていったらいいのか考えていけるとよい。

## (2) 28 年度の自殺予防対策について

事務局より「資料 6」について説明

(座長)

- ・傷害サーベイランス分科会のご意見を受けまして、関係機関との連携強化、具体的には青少年、生活困窮者を対象とした支援策を進め、再企図防止への支援への仕組みづくりなど、委員のみなさまもぜひともご協力のほど、よろしくお願ひしたい。

## 4 情報共有

(田中伸一委員)

- ・セーフコミュニティの分科会の委員を、ほかに高齢者、児童虐待もしている。やはり、地域でどういう形で支えられるか、3つの分科会に共通している。
- ・セーフコミュニティの再認証にあたって、セーフコミュニティの認知度にブレーキがかかっているということで、色々な策を考えているようだが、もう少し地域で話題になるように、地域で活躍している方々に対して、地区別などの形でもう少しセーフコミュニティの輪を広げていく、それが、まず具体的な情報を提供するだけでもずいぶん違う。
- ・妙案があるわけではないが、もっと地域の核になるような方に、セーフコミュニティに関心をもってもらえるように、そうすると地域に広がってくると思う。
- ・きめ細かく、セーフコミュニティそのものがもっと区民に浸透するとよい。

(座長)



- ・ご本人のご協力がないと難しいが、支援を受けてうまくいった事例を地域に発信していくのもすばらしいことではないかと田中委員の発言を聞いて感じた。
- ・発信するには色々な方法があるが、みんなが見て、聞いて、この活動に参加していく気になれる、そのようなエネルギーが感じられるものが必要だと思う。

(牛尾委員)

- ・青少年、生活困窮者の自殺予防ということで、生活困窮者の情報というのは生活支援課が持っていると思うが、その中で「経済面で生活に苦しい」に加えて精神的な疾患を持たれている方がたくさんいらっしゃると思う。障害者支援担当と連携して、「こういうところがあるよ」とか「ここに相談したらいいよ」などを生活支援課も伝えていただけたらもっとよくなるかと思う。

(座長)

- ・利用者にとってわかりやすい、そこにいけばいろんな面からサポートしてもらえるしくみづくり、重要な指摘だと思う。

(吉田アドバイザー)

- ・家族との関係、隣近所との関係、声かけや話し合いができれば自殺させない、孤立させないことができるのではないか、自殺だけではなく、他の問題も同じという話がでていたが、今後の取組にどうあてはまるのか。

(座長)

- ・まだ、直接的に結びついてはいないが、事務局で検討いただければと思う。
- ・高齢者に関しては介護保険のシステムが導入されてから目がはいりやすくなったが、法的整備の問題もあって精神障害者や子どもについては入りづらい。
- ・気持ちの変化を生み出すようなまちづくりが必要

(事務局)

- ・見守りの輪を広げたいと考えているが、高齢の方には声かけしやすい反面、20～30 歳代の見守りについて案がない。アプローチしていく方法について、事務局でも悩んでいるところなので、委員のみなさまでアイデアがあれば教えていただきたい。

## 5 その他

資料 1、資料 5－1・2 を回収

(閉会)

平成27年度 第1回 防犯対策分科会会議録

日 時	平成27年7月7日(火) 午後1時30分から
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	保坂、臼井、岡田、越替、竹谷、折田、竹村(敬称略) 事務局：塗師、吉田、角田、江川
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 セーフコミュニティについて 区政推進課・瀧澤企画調整係長よりセーフコミュニティの概要説明があった。</li> <li>2 防犯対策分科会の運営について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局より「栄区セーフコミュニティ推進協議会防犯対策分科会運営要綱」の制定の報告があり、要綱に基づき座長の選出を行った。</li> <li>・ 栄区連合町内会副会長であり栄防犯協会会長の保坂会長を座長に選出した。</li> </ul> </li> <li>3 防犯対策分科会の取組について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局より、栄区民アンケートで3年連続で「防犯対策」への要望が高いこと等を説明した。また、近年は振り込め詐欺による被害が急増しているため、当分科会の重点課題として被害件数・被害額の減少に取り組みたい旨説明があり、了承された。</li> <li>・ 各構成団体の取組等について報告があり、今後各団体が連携して防犯対策を取り組んでいくことを確認した。</li> <li>・ 振り込め詐欺以外に、どのような犯罪に対する防犯対策が当分科会として考えられるか、引き続き検討することを確認した。</li> </ul> </li> </ol>
資 料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栄区セーフコミュニティの概要</li> <li>2 栄区セーフコミュニティ推進協議会防犯対策分科会運営要綱</li> <li>3 栄区民アンケート集計結果の抜粋</li> <li>4 振り込め詐欺防止について</li> <li>5 町別の街頭犯罪等認知件数(過去3年間)</li> </ol>

平成 27 年度 第 2 回 防犯対策分科会会議録

日 時	平成 28 年 3 月 17 日 (木) 午後 1 時 30 分から
開催場所	栄区役所新館 4 階 7 号会議室
出席者	保坂、臼井、岡田、越替、竹谷、折田、須山 (敬称略) 事務局：塗師、吉田、角田、江川
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 27 年度第 2 回傷害サーベイランス分科会について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局より、サーベイランス分科会の概要について報告があった。</li> </ul> </li> <li>2 各団体における取組の報告について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各構成団体における平成 27 年度の取組について報告があった。 地域ケアプラザ・地区センター・サロンなどにおける出前講座、年金支給日における注意喚起、見守りサポーターなどの制度づくり、中学校・高校での防犯教室・サイバー教室</li> <li>・ 事務局からは、広報よこはまによる広報、各種キャンペーンによる啓発、振り込め詐欺防止に関する出前講座、栄区情報配信サービスによる情報提供、防犯灯の設置、防犯グッズ貸与による地域活動の支援、セーブ・キッズ・フォーラムの開催について報告があった。</li> </ul> </li> <li>3 平成 28 年度に向けた取組について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 26 年より減少したものの、平成 27 年も 7 千万円近い被害の出た振り込め詐欺について、平成 28 年度も引き続き重点課題として被害件数・被害金額の減少に取り組みたい旨事務局より説明があり、了承された。</li> <li>・ 振り込め詐欺の被害者層にあたるシニアクラブの協力のもと、アンケートを実施して意識や取組の現状を調査する旨事務局より説明があり、了承された。</li> <li>・ 栄警察より侵入盗・乗り物盗 (特に自転車盗) の発生件数が多いので、対策に重点を置いている旨報告があった。分科会としてどのような対応が取れるか、今後検討する。</li> </ul> </li> </ol>
資 料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 27 年度第 2 回傷害サーベイランス分科会資料の抜粋</li> <li>2 栄区消費生活推進員 27 年度活動報告</li> <li>3 平成 27 年度防犯対策分科会事務局 (地域振興課) における取組</li> <li>4 振り込め詐欺防止に関するアンケート案</li> <li>5 見守り新鮮情報 (マイナンバー制度に便乗した詐欺に注意)</li> <li>6 町別の街頭犯罪等認知件数 (過去 4 年間)</li> </ol>